

車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野） 開催要項

1. 目的

車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野）（以下、「基礎講習」という。）を行うことにより、車椅子姿勢保持の適合について基礎的な技術を習得させることを目的とする。

2. 主催 公益財団法人テクノエイド協会

3. 実施機関：次の4団体が共同で実施します。

一般社団法人日本車椅子シーティング協会

一般社団法人日本義肢協会

公益社団法人日本義肢装具士協会

日本リハビリテーション工学協会 車いす SIG

4. 開催日 2022年3月14日（月）～2022年3月28日（月）

上記の期間にWEB上にてオンデマンド形式で動画の配信を行います。

5. カリキュラムおよび講師 別紙1参照

6. 会場 オンデマンド開催

7. 募集人数 50人

8. 受講条件：次の①～③のいずれかを満たす者とします。

①福祉用具専門相談員業務または車椅子および姿勢保持関連業務に1年以上従事している者
または経験がある者

②病院・施設において看護または介護等業務に1年以上従事している者または従事した経験がある者

③その他、基礎講習を受講することが特に有効であると公益財団法人テクノエイド協会理事長が認める者

④WEB上に掲載された動画の視聴環境（インターネット回線および端末）がある者

⑤動画の配信期間内に全ての講義を視聴することが可能な者

9. 受講料 一般：26,000円 実施機関の会員：21,000円

※開催後は原則として受講料の返金はいたしませんのでご了承ください。

10. 申込方法

①車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野）受講を希望される方は、下記2点の必要書類にご記入の上、メールで送信して下さい。

送信先アドレス：info@j-aws.jp

必要書類：（1）受講申込書
（2）実務経歴証明書

※メールの件名は「車椅子姿勢保持基礎講習申込み」としてください

②申込締切日

2022年3月4日（金）12:00 必着

※先着順でのご案内となるため、締切日前であっても募集定員に達し次第締切となります。

③申込み受付完了後、メールにてお知らせします。

④後日、「受講料お振込みのお知らせ」をメールにて送付しますので、受講料をお振込み期限までにご入金ください。

⑤入金確認後、テキストの郵送と講義動画の視聴方法の案内を連絡します。

⑥動画の配信期間内に全講義の視聴を完了してください。

11. 修了証書

基礎講習受講修了者には、公益財団法人テクノエイド協会理事長名による修了証書を交付します。（データでの提供となりますので、必要な場合は各自で印刷を行ってください。）

12. 個人情報の取扱いについて

- （1）本研修申込者に関する個人情報は、受講承認に係る作業（受講の可否、通知送付等）のみに使用します。
- （2）本研修受講者に関する個人情報は、研修事業運営に係る作業（受講者名簿の作成、資料の送付、履修状況管理、修了証書の交付等）及び統計資料の作成等のみに使用します。
- （3）これらの個人情報は、一般社団法人日本車椅子シーティング協会が適切に管理し、上記以外の目的での使用や、本人の了承なく第三者に提供することはありません。

13. その他

本講習は、福祉用具プランナー更新のための指定研修に該当します。

- 【注意事項】・講義動画の視聴は申込者本人のみに限り、申込者以外の視聴は固く禁止します。
- ・講義動画の録音、録画、撮影を固く禁止します。
 - ・領収書は、金融機関の振込明細・払込取扱票をもってかえさせていただきます。
 - ・入金後のキャンセルは承れません。

お問合せ先

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-15 浜松町三電舎ビル 2F

TEL : 03-6435-0365 FAX : 03-6435-0366 E-mail : info@j-aws.jp

車椅子姿勢保持基礎講習（障害分野）カリキュラム

No.	科目	時間	講師
	1. シーティングの考え方を知る		
1.1	(1)リハビリテーションとICF	1.5	横浜市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科医師 小池 純子
1.2	(2)ポジショニングとシーティング		
1.3	(3)制度と法規・供給システム		
1.4	(4)シーティングのアセスメントとチーム・アプローチ		
1.5	(5)シーティングの実際の流れ		
1.6	(6)座位・臥位での身体寸法計測と評価	1.0	株式会社シーティング研究所 作業療法士 木之瀬 隆
1.7	(7)車椅子・座位保持装置上での身体拘束予防		
	2. 関連障害や疾病を知る		
2.1	(1)小児の障害	0.5	横浜市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科医師 吉川 真理
2.2	(2)成人の障害	1.0	横浜市総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科医師 高岡 徹
2.3	(3)高齢者の障害		
2.4	(4)褥瘡の理解とシーティングの対応(小児)	3.0	重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎 作業療法士 岸本 光夫
2.5	(5)呼吸(小児)		
2.6	(6)摂食・咀嚼・嚥下(小児)		
2.7	(7)小児の呼吸障害や嚥下障害とその対応		
2.8	(8)姿勢保持と拘縮変形	1.0	横浜市総合リハビリテーションセンター 整形外科医師 平塚 和人
2.9	(9)シーティングに必要な身体部位の名称・人体計測点	0.5	木之瀬 隆
2.9	(10)高齢者の嚥下・呼吸・シーティング	2.0	有限会社スマイル 理学療法士 大淵 哲也
	3. 車椅子の機能を知る		
3.1	(1)車椅子の分類・名称	6.0	株式会社コーヤシステムデザイン リハビリテーション工学技士 松野 史幸
3.2	(2)身体支持部の種類と機能		
3.3	(3)車椅子用クッションの選定		
3.4	(4)車椅子用クッションの種類と性能		
3.5	(5)車椅子の力学 車輪アライメントと車椅子の走行性能		
3.6	(6)車椅子の適合ポイント(寸法の確認)		
3.7	(7)移乗の方法と適合		
3.8	(8)水廻りの車椅子・椅子の種類と選択	1.0	有限会社木村義肢工作研究所 義肢装具士 北川 新二
3.9	(9)カーシートの種類と選択		
3.10	(10)電動車椅子	1.5	石川県リハビリテーションセンター リハビリテーション工学技士 北野 義明
3.11	(11)車椅子のメンテナンス	0.5	北川 新二
	合計	19.5	

実務経歴証明書

年 月 日

一般社団法人日本車椅子シーティング協会代表理事 殿

〒
住 所
所属先名
代表者名

印

下記の者の実務経歴は、以下のとおりであることを証明する。

氏 名	
福祉用具に関連する業務内容	
従事期間	昭和・平成・令和 年 月 ~ 現在 (年 ヶ月間)

実務経験は通算で1年以上必要です。業務に従事した施設・事業等が複数にわたる場合はコピーしてお使いください。